

「びわ湖の日」についてのアンケート結果

県では、より多くの県民の皆さまが、改めて琵琶湖へ想いを寄せ、様々な活動が活発になるなど、琵琶湖とのつながりを深めていただくために、今年度は「この夏！びわ活！」をキャッチフレーズに、「びわ湖の日」を盛り上げる取組を実施しました。

皆さまから率直な意見をいただき、「びわ湖の日」の今後の取組の参考にさせていただくことを目的として、アンケート調査を実施しました。

★調査時期：平成 30 年 10 月

★対象者：県政モニター 396 人

★回答数：330 人（回収率 83.3%）

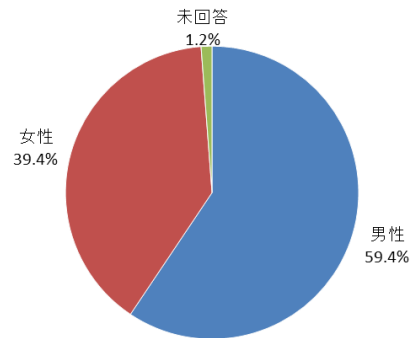
★担当課：琵琶湖環境部環境政策課

（※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。）

【属性】

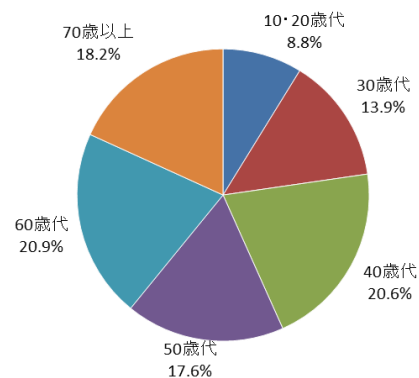
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	196	59.4
女性	130	39.4
未回答	4	1.2
合計	330	100.0



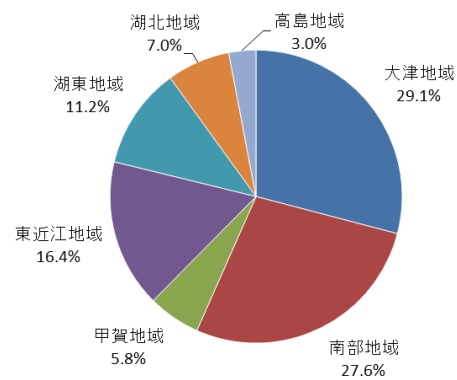
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	29	8.8
30歳代	46	13.9
40歳代	68	20.6
50歳代	58	17.6
60歳代	69	20.9
70歳以上	60	18.2
合計	330	100.0



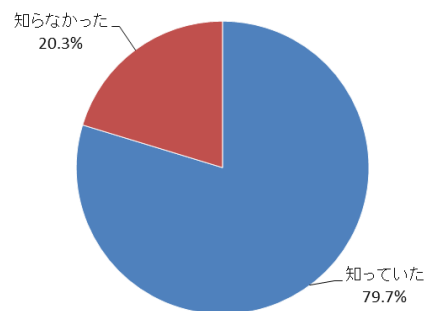
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	96	29.1
南部地域	91	27.6
甲賀地域	19	5.8
東近江地域	54	16.4
湖東地域	37	11.2
湖北地域	23	7.0
高島地域	10	3.0
合計	330	100.0



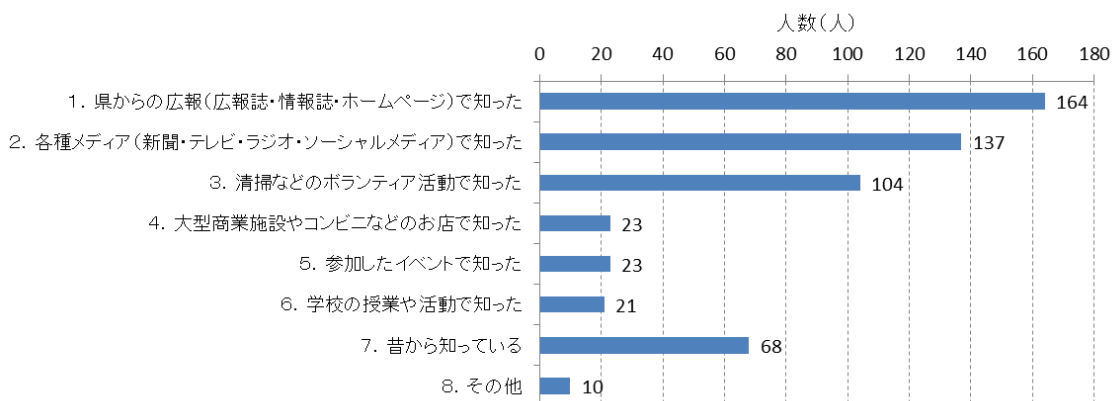
問1 7月1日が「びわ湖の日」であることを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ。
n=330)

項目	人数(人)	割合(%)
知っていた	263	79.7
知らなかった	67	20.3
合計	330	100.0



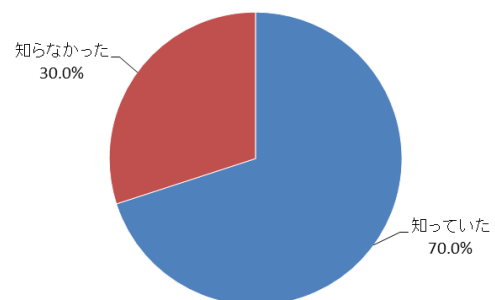
問2 問1で「1. 知っていた」と回答された方にお尋ねします。「びわ湖の日」をどのようなきっかけで知りましたか。(回答チェックはいくつでも。n=263)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県からの広報(広報誌・情報誌・ホームページ)で知った	164	62.4
2. 各種メディア(新聞・テレビ・ラジオ・ソーシャルメディア)で知った	137	52.1
3. 清掃などのボランティア活動で知った	104	39.5
4. 大型商業施設やコンビニなどのお店で知った	23	8.7
5. 参加したイベントで知った	23	8.7
6. 学校の授業や活動で知った	21	8.0
7. 昔から知っている	68	25.9
8. その他	10	3.8



問3 「びわ湖の日」は、「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」が施行された日を記念して定められています。当条例は、1977年(昭和52年)5月に大規模に発生した淡水赤潮の原因の一つが、合成洗剤に含まれているりんに起因することがわかり、県民が主体となって、粉石けんを使おうという運動(石けん運動)の盛り上がりなどを背景に施行されたものです。こうした背景を知っていましたか。(回答チェックは1つだけ。n=330)

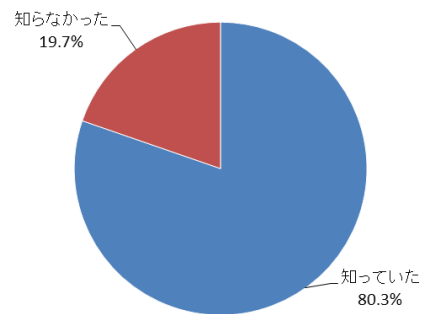
項目	人数(人)	割合(%)
知っていた	231	70.0
知らなかった	99	30.0
合計	330	100.0



問4 「びわ湖の日」は「滋賀県環境基本条例」において、環境保全について理解と認識を深め、環境保全活動への参加意欲を高める日として定められています。

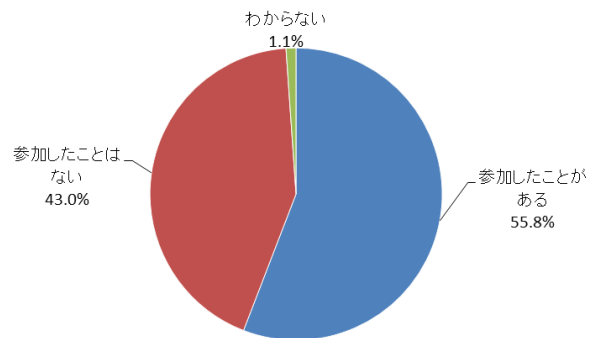
これまで、「びわ湖の日」を中心に、県内一斉に清掃活動が行われてきたことを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ。n=330)

項目	人数(人)	割合(%)
知っていた	265	80.3
知らなかった	65	19.7
合計	330	100.0



問5 問4で「1. 知っていた」を選択された方にお尋ねします。これまで、「びわ湖の日」の一斉清掃活動(びわ湖をきれいにする運動)に参加したことがありますか。(回答チェックは1つだけ。n=265)

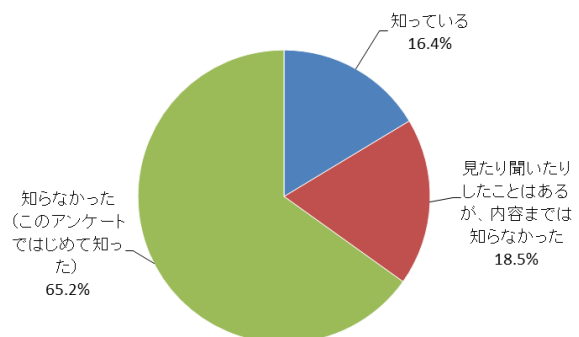
項目	人数(人)	割合(%)
参加したことがある	148	55.8
参加したことはない	114	43.0
わからない	3	1.1
合計	265	100.0



問6 「びわ活※」を知っていますか？ (回答チェックは1つだけ。n=330)

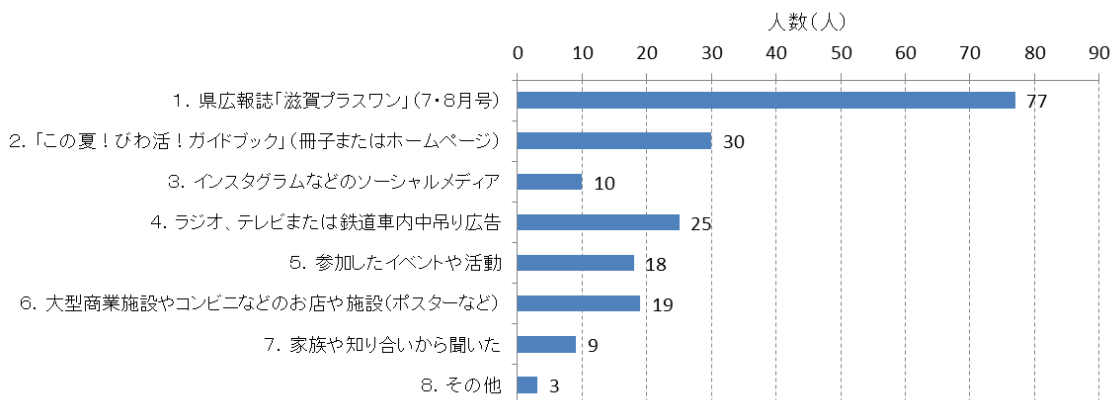
※:「びわ活」とは、びわ湖の日(7月1日)から山の日(8月11日)までを重点期間とした、琵琶湖を守る、琵琶湖と暮らす、琵琶湖と親しむ、といった琵琶湖と関わるさまざまな取組や活動をいい、今年度から取組を進めています。

項目	人数(人)	割合(%)
知っている	54	16.4
見たり聞いたりしたことはあるが、内容までは知らなかった	61	18.5
知らなかった(このアンケートではじめて知った)	215	65.2
合計	330	100.0



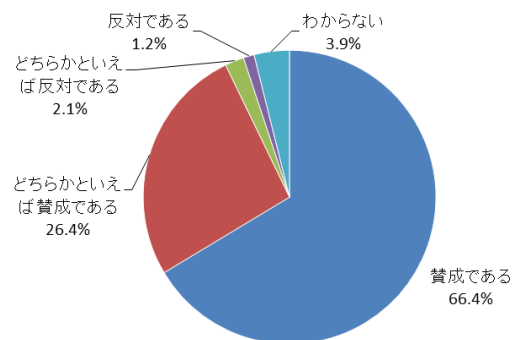
問7 問6で「1. 知っている」「2. 見たり聞いたりしたことはあるが、内容までは知らなかった」と回答された方にお尋ねします。「びわ活」をどのようなきっかけで知りましたか。
(回答チェックはいくつでも。n=115)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県広報誌「滋賀プラスワン」(7・8月号)	77	67.0
2. 「この夏！びわ活！ガイドブック」(冊子またはホームページ)	30	26.1
3. インスタグラムなどのソーシャルメディア	10	8.7
4. ラジオ、テレビまたは鉄道車内中吊り広告	25	21.7
5. 参加したイベントや活動	18	15.7
6. 大型商業施設やコンビニなどのお店や施設(ポスターなど)	19	16.5
7. 家族や知り合いから聞いた	9	7.8
8. その他	3	2.6



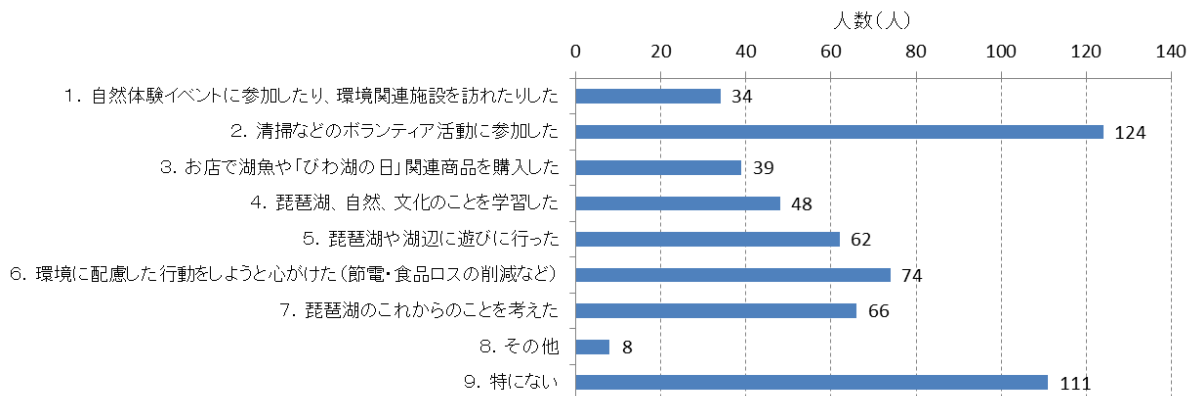
問8 「びわ活」の重点期間(びわ湖の日(7月1日)から山の日(8月11日))を設定して、森・川・里・湖のつながりを意識しながら、琵琶湖に関わるさまざまな取組や活動を推進する考えについて、どのように思われますか。(回答チェックは1つだけ。n=330)

項目	人数(人)	割合(%)
賛成である	219	66.4
どちらかといえば賛成である	87	26.4
どちらかといえば反対である	7	2.1
反対である	4	1.2
わからない	13	3.9
合計	330	100.0



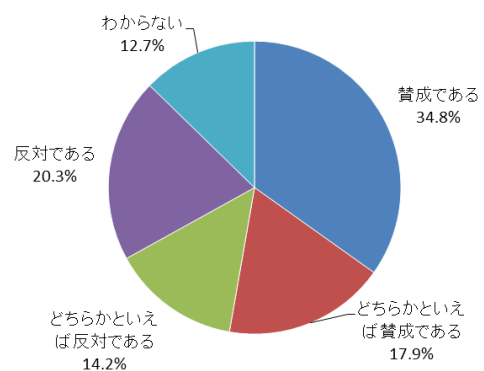
問9 今年、「びわ湖の日」や「びわ活」を意識して関わったことがあれば教えてください。
 (回答チェックはいくつでも。n=330)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自然体験イベントに参加したり、環境関連施設を訪れたりした	34	10.3
2. 清掃などのボランティア活動に参加した	124	37.6
3. お店で湖魚や「びわ湖の日」関連商品を購入した	39	11.8
4. 琵琶湖、自然、文化のことを学習した	48	14.5
5. 琵琶湖や湖辺に遊びに行った	62	18.8
6. 環境に配慮した行動をしようと心がけた(節電・食品ロスの削減など)	74	22.4
7. 琵琶湖のこれからのことを考えた	66	20.0
8. その他	8	2.4
9. 特になし	111	33.6



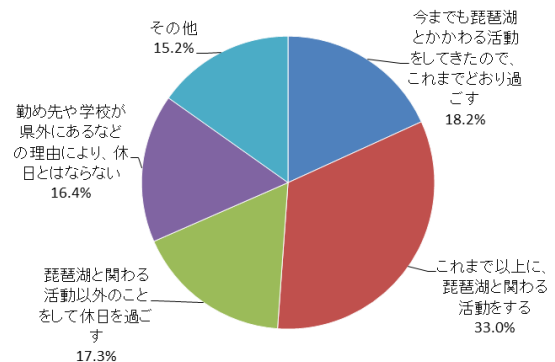
問10 7月1日「びわ湖の日」を県内において休日とすることについて、あなたはどのように思いますか。(回答チェックは1つだけ。n=330)

項目	人数(人)	割合(%)
賛成である	115	34.8
どちらかといえば賛成である	59	17.9
どちらかといえば反対である	47	14.2
反対である	67	20.3
わからない	42	12.7
合計	330	100.0



問 11 7月1日「びわ湖の日」が県内において休日となった場合、どのようなことをして過ごしますか。(回答チェックは1つだけ。n=330)

項目	人数(人)	割合(%)
今までも琵琶湖とかかわる活動をしてきたので、これまでどおり過ごす	60	18.2
これまで以上に、琵琶湖と関わる活動をする	109	33.0
琵琶湖と関わる活動以外のことをして休日を過ごす	57	17.3
勤め先や学校が県外にあるなどの理由により、休日とはならない	54	16.4
その他	50	15.2
合計	330	100.0



問 12 7月1日「びわ湖の日」が県内において休日となった場合、良いと思われることがあれば教えてください。(任意：抜粋)

- 琵琶湖について考え、行動するきっかけになる。
- 琵琶湖について学ぶ機会が増える。
- 清掃活動やイベントを開催しやすくなる。
- 清掃活動やイベントに参加しやすくなる。
- 家族で過ごすことができるため、琵琶湖に関する子どもとの良い思い出ができる。
- 多くのイベントが行われることにより、経済の活性化や観光客の誘致が期待できる。
- 県民が盛り上がり、滋賀県としての一体感がでる。
- 全国的にPRできる。
- 滋賀県以外では平日なので、テーマパークや観光地は混雑しないため、混雑を避けて楽しめる日になる。
- 仕事や学校が休みになるので嬉しい。

問 13 7月1日「びわ湖の日」が県内において休日となった場合、不都合なことがあれば教えてください。(任意：抜粋)

- サービス業など、業種によっては休日にできない。
- 勤め先や学校が県外にあるなどの理由により、休日とはならない。
- 休める人と休めない人が出てきて、不公平感がでる。
- 県外の企業とも取引があるため、前後の生産調整が面倒となり、業務に支障がでる。
- 会社は休みにならないが、保育園や学校が休みとなり、子どもの預け先に困る。
- 学校での授業日数が減り、学力低下が懸念される。

- 休日が増えると、時給で働いている人は給料が減る。
- 役所、銀行、病院が休日になり、不便である。
- 年間休日数が定められているため、「びわ湖の日」が休みになると、他の日に出勤しないと
いけなくなる。
- 交通機関が休日ダイヤとなった場合、県外への通勤が不便となる。
- 琵琶湖のことを意識して過ごす日にはならないと思う。コストの割に効果が希薄だと思
う。
- 本来、日常的に意識しなければならないことなのに、記念行事や無理矢理の意識づけと
なってしまう、日常的意識の低下につながる。
- 悪天候の場合、イベントがすべて中止になる。
- 琵琶湖は JR 沿線から離れたところにあるので、琵琶湖の近くでイベントがあっても公共
交通機関で行くことが難しく、参加しづらい。
- 休日は「休む日」である。学校等で学習の一環として、清掃活動を平日に行うべき。

問 14 「びわ湖の日」に関して、今後、県、事業者、民間団体等に対して期待することなど
がありましたらお聞かせください。（任意：抜粋）

- 「びわ湖の日」を周知し、びわ湖を大切に作る心が芽生えるよう、大々的に広報して欲
しい。
- 少しでも琵琶湖のことを考える人が増えることを期待する。
- 「びわ湖の日」に関連するイベントを開催して欲しい。
- 「びわ活」重点期間を中心に、年間を通じて、県・市町・事業者・民間団体、幼稚園か
ら大学等が取組可能な活動を行うことを期待する。
- 気候の良い5月や10月に清掃活動を実施してはどうか。
- 「びわ活」期間は酷暑のため、期間を広げて欲しい。
- 優れた活動を行っている団体や個人に対しての表彰制度を設けて欲しい。
- 「びわ湖の日」の活動を企画・支援するだけでなく、日々の清掃、美化、環境保護活動
をしているボランティアに手厚く支援していただきたい。
- 県外からの移住者にも意識してもらうための施策が必要。
- 琵琶湖の近畿圏における水がめとしての役割を県外へPRすべき。
- 「びわ湖の日」を休日とすることよりも、事業者・民間団体・学校等が連携し、社会全
体で琵琶湖に関わる活動に参加することの方が有意義ではないか。
- 県外で働く滋賀県民の有休休暇取得への支援をして欲しい。
- 農林水産業者、水を大量使用する業者、官公庁、地域住民による協議の場を県主導の下
で開催すべき。
- 外来動植物の駆除をして欲しい。
- 琵琶湖の魚を安く購入したい。
- 家庭で使用する洗剤等について、琵琶湖へ悪影響を及ぼさず、性能が十分で低価格な滋
賀県産の製品を開発・販売して欲しい。

- 森林の育成をしてほしい。
- ゴミのポイ捨てや犬の糞の放置について、罰則付きの条例を制定して欲しい。